

平成 22 年度授業評価アンケート実施結果についての概要

東京医療保健大学東が丘看護学部

- 東が丘看護学部では、前期・後期に実施された全授業科目について、学生による授業評価アンケートを実施しました。授業評価アンケート結果については、当該教員に配布し、次年度以降の授業改善の基礎データとして活用していただくこととしており、その具体的な内容等については、学部年報に記載し、公表するとともに、学部長の授業評価結果に対する考察を公表しております。
- 授業評価アンケート結果の各質問項目別の集計結果については、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思う」及び「無回答」のそれぞれの割合（％）により表記しております。また、自由記述については、「授業に対する肯定的評価」、「授業に対する批判・要望等」及び「施設・設備等への不満」に分類するとともに、その主な具体的意見等が分かるよう表記しております。
- 質問項目別の肯定的な回答の「そう思う」「ややそう思う」の割合は以下のとおりとなっています。

I. 学生として自分自身の態度について	89.3%
II. 授業内容について	85.9%
III. 教員の教え方について	78.5%
IV. 教員の姿勢について	88.2%
V. 総合評価	85.3%

平成 22 年度 東が丘看護学部授業評価アンケート調査結果に対する考察

学部長 草間 朋子

- 全 52 科目の総合評価結果は、別添資料の通りである。
- 学部アンケートの回収方法に工夫を加え、回答率を 100%に近づけるようにしていきたい。
- すべての質問項目で、ネガティブな回答をした学生の割合は、3%程度であり、教育の質は保たれているものと考えている。
- 自由記述にも見られるように、校舎も設備も十分とはいえない教育環境の中で、学生が講義や演習に高い満足度を示しているのは、教員達の努力に負うところが大きいと思う。
- 今年度は、学部のスタートの段階で、1年次生しかいないが、今後、学年進行とともに学生数が、増加していき、教員の負担が増大することが予想されるので、関係部局と適切な教員配置を話し合い、教育の質が低下しないように十分な配慮をしていきたい。
- 関係部局と話し合い、講義室の音響、黒板・白板等の整備、教材や教具など教育環境を整えるよう努力していきたい。